

# 分割・民営化を阻止しよう

**民営化推進する連合JPU本部を打倒し  
職場から物ダメ・ストライキで闘おう！**

郵便局で働くすべての労働者のみなさん。新年明けましておめでとうございます。05年は、郵政分割・民営化を阻止するのにか否か、郵政職場で働くすべて労働者にとって正念場の年です。このとき連合JPU中央本部は、口先だけの「民営化反対」とは裏腹に、小泉・民営化路線に完全に屈伏し、首切り大合理化の推進者となっています。現場組合員を抑えつける役割を担っているのです。だが現場には「このままでは殺される」「もうがまんならない」という怒りがうずまいています。今こそ中央本部を打倒し、闘う全通の旗を打ち立てるときです。現場から闘う団結を打ち固め、国鉄分割・民営化をも上回る首切り攻撃に対して、物ダメ・ストライキの闘いを復権させよう。

## 11・7集会の熱気と感動を起点に闘おう

05年の年頭にあたり、郵政職場で働くすべての労働者のみなさんに、小泉政権―奥田（日本経団連会長）―生田（郵政公社総裁）―連合JPU中央による07年郵政分割・民営化攻撃絶対阻止の闘いにも立ち上がることを訴えます。私たちは、《大量首切りと全通労働運動解体攻撃を物ダメ・ストライキで阻止しよう》《連合JPU中央本部を打倒しよう》の2大方針を提起し、05年民営化絶対阻止へ総決起します。

昨年11月7日は、日本労働運動と国際労働運動の新たな一ページを開く歴史的な日でした。「たたかう労働組合の全国ネットワークをつくろう！大失業と戦争にたちむかう労働者の国際的団結を！11・7全国労働者総決起集会」（写真）は、東京・日比谷野外音楽堂を埋める3600人余りの労働者の結集で、素晴らしい感動的な集会として成功しました。韓国・民主労総、アメリカ・ILWU（国際港湾倉庫労組）の代表を迎えて、アメリカの10・17MWM（百万人労働者行進）を引き継ぎ、お互いが激励しあう日米韓の国際連帯集会となりました。資本の手先となった既成の労働運動をひっくり返す、闘う労働運動・日本におけるMWMの実現に向けた第一歩を踏み出したのです。



昨年11月7日、日米韓3カ国、日本全国の149労組・団体の代表が日比谷野音に結集。

**全国労組交流センター 全通労働者部会**  
 東京都台東区元浅草 2-4-10-5F  
 TEL 03-3845-7461 FAX 03-3845-7463  
 Eメール:centergo@nifty.com  
 HP:www.k-center.org/

# 私たちのスローガン

- ① 07年郵政分割・民営化絶対阻止、05年民営化法案提出反対。
- ② 首切りのための「非公務員化」⇨公務員身分の剥奪（はくだつ）反対。
- ③ 郵政事業を食い物にしている政治家・財界・官僚・労働貴族の癒着構造を一掃しよう。
- ④ 4・28反処分闘争勝利・職場復帰をかちとろう。スト権を奪還しよう。
- ⑤ 連続深夜勤を即時中止させ、仮眠時間・特例休息を確保しよう。
- ⑥ 05年人材活用センター設置反対。
- ⑦ アクションプラン合理化による人員削減反対、12万人の短時間職員、非常勤労働者の本務者化を。
- ⑧ 人事交流の即時中止。
- ⑨ JPSⅡトヨタ方式によるマル生（生産性向上運動）反対、集配職場での立ち作業の即時中止。
- ⑩ 集配への1ネット方式導入による10時間労働（拘束12時間）の即時中止。
- ⑪ 賃金の引き下げと差別・分断を狙う能力給制度の即時中止。
- ⑫ 郵便局の統廃合反対。
- ⑬ 日通を始めとする輸送部門などの切り捨て反対、労働条件改善。
- ⑭ イラク戦争反対、労働者の戦争動員を狙う有事法制による「指定公共機関」指定反対。
- ⑮ 闘う動労千葉―国鉄1047名、自治体労働者、教育労働者とともに、小泉⇨奥田の戦争と民営化を阻止し、公務員制度改悪と憲法改悪に反対する大運動を巻き起こそう。
- ⑯ アメリカ・韓国を始めとする労働者と国際連帯を強め、帝国主義を打倒しよう。

日本で階級的労働運動を守り続けてきた3労組（動労千葉、全国金属機械・港合同、全日建運輸連帯・関西生コン支部）の呼びかけによる新潮流運動が大きく花開き始めたのです。この新潮流運動は、アメリカのMWM（百万人労働者行進）のランク・アンド・ファイル運動（組合は現場労働者のもの）と同様に、腐敗・墮落した既成指導部から労働組合の権力を奪い返し、労働運動を戦闘的につくり変えていく運動です。総評解散―連合発足から15年、労働運動が失っていた体制変革の思想をよみがえらせたのです。

小泉⇨奥田は、「骨太方針Ⅳ」をもって、郵政分割・民営化攻撃を軸に、公務員制度改悪など、公務員労働運動の解体・一掃を行おうとしています。公務員労働組合を戦前のような産業報国会に変質させ、戦争協力勢力に仕立て上げていく攻撃です。国鉄分割・民営化型の攻撃が全産別に吹き荒れているのです。これに対して、全通・教労・自治労・国鉄の4産別を先頭にした労働者が「動労千葉のように闘おう」を合言葉に11・7集会に登場したのです。

戦争に突き進む小泉政権を打倒するために、職場からたたかう労働運動をつくりあげよう。全通労働運動でも中央本部の裏切りを許さない大統一戦線を実現し、郵政民営化阻止へ総反撃を開始しよう。

## アクションプラン2・人活センターを阻止しよう

小泉政権は、1月末にも郵政民営化関連法案の素案を決定し、3月末に通常国会へ提出しようとしています。07年4月から、純粋持ち株会社のもとに、窓口ネットワーク会社、郵便事業会社、郵便貯金会社、郵便保険会社に4分社化するというものです。重大なのは、すべての郵政公社職員が、07年4月の民営化と同時に非公務員化されることです。国鉄分割・民営化やNTT大合理化などを集大成した大攻撃です。経営形態の変更をとおして「いったん全員解雇・選別再採用」による大量首切りと活動家バージ、労働組合破壊を強行することが最大の狙いです。

この民営化攻撃と軌を一にして、公社は「アクションプラン・フェーズⅡ」の大合理化攻撃を打ち出そうとしています。それは、郵便内務のアウトソーシングと非常勤化により、「余剰人員」を「人材活用センター」に送り込むことなどです。連合JPU中央本部は、2月中央委員会これを承認しようとしています。断じて許してはなりません。すでに、国鉄分割・民営化攻撃において82年から87年に20万人の大合理化を強行したような激烈な決戦過程が始まっています。

第一に、さまざまな合理化による徹底的な人員削減と、国鉄での「緊急11項目」のような攻撃が、民営化法案提出と合わせて05年から始まります。しかし、この攻撃のあまりの理不尽さは、連合JPU中央の反動的裏切りなくして貫徹されません。国鉄分割・民営化での動労カクマルの役割を連合JPU中央が担うのです。しかし、カクマルのような暴力支配はできません。現場から「もう我慢できない。これでも労働組合か」という公社当局と連合JPU中央・地本をくし刺しにした怒りが必ず爆発します。

第二に、07年の非公務員化による全員解雇―再雇用の攻撃です。そこでは「選別再採用」があり得る上に、再採用後も有期雇用のように首切り自由の状態にしようというのです。《去るも地獄、残るも地獄》の状況にたたき込まうというのです。さらに、公務員身分を奪うとともに「みなし公務員」としてスト権を制限しようとしています。どうしてこんなことが許せるのか。怒れる職場の仲間のみなさん。いまこそ、物ダメ・ストライキでたたかおう。連合JPU中央打倒（全通改革）に立ち上がろう。

## みなさん。78越年闘争を復権させよう！

## 連合JPU中央本部を打倒し、物ダメ・ストライキに立ち上がろう！

郵政民営化は、職場の団結を打ち固めて反撃すべき攻撃です。その団結の力は、必ず物ダメ・ストとして爆発します。国鉄分割・民営化に対して動労千葉が闘ったように、首をかけても闘う腹を固めて血路を切り開こう。労働者は必ず立ち上がります。私たちは、職場の仲間とともに、その最先頭でたたかいます。

05年⇨07年にかけて、郵政民営化の具体的攻撃に対する職場の怒りを、創意工夫ある職場闘争に練り上げてたたかおう。となりで働く仲間呼びかけて、自分の職場から闘いをつくりあげよう。そして、当局との力関係をひっくり返そう。

それを実現するたたかいは、郵政民営化攻撃のウイークポイントである連合JPU中央本部を打倒することです。



集会後、意気たかく日比谷から銀座デモに出発した全通労働者の隊列（04年11月7日）



闘えば勝てる！ 今こそ物ダメ・ストライキを復権させよう 78年越年物ダメ闘争に対する4・28処分を取り消す控訴審逆転勝利判決は、闘いを裏切った連合JPU中央の破産を鮮明にした (04年6月30日)

連合JPU中央本部は、労働条件の切り下げはもちろん、首切りの手先となつていきます。委員長・菰田は、昨夏のNTT労組の大会で「自民党の守旧派と手を組んで民営化させない取り組みを行う」と来賓あいさつしました。総裁選挙で小泉と闘えない守旧派を唯一の頼りにしている体たらくです。

また11月には東京の全支部執行委員を前に副委員長・本庄が「(民営化問題で)音の出るようなことはやらない。労働条件の低下はやむなし」と民営化に反対しないことを明言しました。労働条件の切り下げ、賃下げ、分担当が埋まらないほどの人員削減、綱渡りの業務運行に「こんな職場にした組合と当局は許せない」という怒りが充満しています。連合JPU打倒II改革へ、職場の仲間とともに立ち上がろう。

民営化されたイギリスのロイヤルメールの郵便労働者は03年10月、賃

下げと人員削減に対して、全国的ストが否決されても、現場の新潮流派グループが軸となつて「山猫スト」を闘い、それを次々と拡大し勝利しました。その教訓を生かそう。

物ダメ・ストライキ闘争方針は、戦後労働運動を中心的に担った全通労働運動の誇りとその復権をかけた闘いです。その決定的な闘いのテコは、25年間、闘い続けている4・28反処分闘争です。78〜79年反マル生越年闘争に対する懲戒免職処分攻撃に対して、路線転換で組合員資格まで奪った連合JPU中央に抗して、被免職者は昨年6月30日、高

裁逆転勝利判決をかちりました。この勝利の核心は、当該の被免職者が苦闘をのりこえ、25年間、あきらめないで闘い続けたことと、それをともに支えた続けた全国の全通労働者・支援の存在です。全通労働者の階級的誇りが脈々と生き続けているあかしです。職場にはランク・アンド・ファイルの精神が誇り高く宿っています。多くの全通労働者がこの闘いを支持し、そこに闘いの展望を見いだしています。4・28闘争こそが、職場闘争、すなわち物ダメ闘争を闘う陣形を広範につくりだすテコであり、連合JPU中央を打倒する闘いそのものです。4・28闘争の完全勝利は、郵政民営化阻止と一体のものです。

今こそ4・28闘争の地平を發展させ、郵政民営化絶対阻止と全通改革の強固な闘う陣形をさらに拡大しよう。職場から闘いをまきおこし、その中でたたかう全通青年部運動を再建しよう。現場からの実力決起に敵対し破壊することを狙った「告訴・告発運動」にはしる全通力クマルを一掃しよう。

## 今春、教育労働者の「日の丸・君が代」拒否闘争とともに郵政分割・民営化阻止に立ち上がろう！

05年の通常国会は、郵政民営化(法案)を決定的な攻防軸とする一大決戦となります。昨年の卒入学式をめくり、今年の卒入学式を目前にして、「日の丸・君が代」・教育基本法改悪阻止闘争は、すでに広範なたたかいとして火を噴いています。この闘いの爆発と重なり郵政民営化阻止闘争の爆発も不可避です。国鉄分割・民営化阻止の闘いで動労千葉が勝利したように、退路を断つて職場の団結を固めてたたかいに立ち上がったとき、勝利の展望は必ず切り開かれます。

許せないことに、1月2日の年賀休配が廃止されました。この年始から闘いを開始しよう。2月の連合JPU中央委員会を民営化阻止・アクションプランII阻止の決戦として闘おう。